

平成 12 年度(補正)地球環境保全技術開発助成事業事業一覧

	事業者名 開発期間	事業名	事業概要
1	財団法人 レーザー技術 総合研究所 平成 12～13 年度	サイリスター駆動パルス 放電によるディーゼル自 動車用小型排気処理装 置	パルス放電プラズマと還元触媒、アルカリ触媒、光触 媒を組み合わせることで 車載可能な小型排気処理 装置を開発し、ディーゼル車排気ガス中の N ₂ O、浮 遊粒子状物質、硫黄酸化物の放出量削減を目指す。
2	株式会社東芝 平成 12～13 年度	自動車排ガスからのN ₂ O排出抑制に関する研 究開発	ガソリン車の NO _x 分解に使用されている三元触媒処 理で副生する N ₂ O を抑制するため、放電と NO _x 分 解触媒を併用することで触媒活性を上げ、触媒劣化 や貴金属担持量を最小限に抑える技術を確認する。
3	前澤工業株式会社 平成 12～13 年度	天然繊維を用いた排水 処理装置の開発	セルロース等の天然繊維を母体とする新規キレート 材である粉末状キレート繊維(水中の重金属イオン 等をキレートとして繊維中に取り込むことにより除去 できる繊維)を排水処理に応用するため、装置の設 計製作及びそれを用いた実証試験を行う。炭酸ガス の排出源となる石油由来の繊維を使用した場合に 比較し、温室効果ガスの削減が可能である。
4	カネボウ合繊株式会社 平成 12～13 年度	天然素材を出発原料と する生分解性プラスチッ クを用いた発泡性微小 ビーズの開発	天然素材(植物)を出発原料とした生分解性ポリ乳酸 樹脂を用いた発泡性微小ビーズの実用化技術を開 発する。特に市場ニーズの高い直径 1mm 以下の 微小発泡性ビーズ樹脂・設備の開発を行う。発泡ポ リスチレン等、石油原料の緩衝剤の代替物を開発す ることにより、炭酸ガス排出削減に貢献する。
5	西松建設株式会社 平成 12～13 年度	ガソリン車およびディー ゼル車排ガス浄化装置 の開発	放電装置と燃焼装置を組み合わせることで、ガソリン 車の排ガスに含まれる N ₂ O を効率的に分解でき、 かつディーゼル車の排ガスに含まれる粒子状物質の 除去も可能な排ガス 浄化装置を開発する。
6	キョージン株式会社 平成 12～13 年度	電気二重層キャパシタと 面状発光体を組み込ん だ一体型ソーラーモジュ ールの開発	太陽電池モジュール、高い充放電効率とすぐれた寿 命特性を有する電気二重層キャパシタ 及び表示用 LED 面状発光体とを薄型に一体加工し、システム効 率が良く、長寿命な蓄電・表示システムの実用化開 発を行う。
7	JFEテクノリサーチ株式 会社 (旧: 日本鋼管テクノサ ービス株式会社) 平成 12～13 年度	大気圧下低温プラズマ 不導体化処理による金 属の無酸化加熱	窒素雰囲気下でマイクロ波加熱することで、窒化によ る不導体化処理された状態をつくりだし、無酸化の まま金属を加熱する技術を確認する。これにより、金 属の熱処理時のロスをなくして金属使用量を 低減す ることにより、地球温暖化ガスの削減に貢献する。

8	株式会社 神鋼環境ソリューションズ 平成 12～13 年度	バイオ技術を利用した食品廃棄物の超高ガス化率メタン発酵システムの実用化開発	可溶化技術を有機性食品廃棄物のメタンガス化技術へ適用することにより、メタン発酵システムから発生する固形残渣を完全消滅し、かつ従来法に比べてメタンガス発生量を 1.8 倍に増大させる。これにより、単なる焼却処分により発生していた炭酸ガスを削減し、かつメタンガスを有効利用することで温室効果ガスの削減が可能である。
9	三井造船株式会社 平成 12～13 年度	高温未利用エネルギー回収・負荷平準化分散型電源	高温未利用エネルギーを回収して高効率に電力変換し、昼間電力主導型産業に移送することにより、電力負荷の平準化を行い、大幅な省エネルギーを実現する。
10	株式会社セテック 平成 12～13 年度	畜産廃棄物のバイオ醗酵処理ガスによる電力・熱コージェネシステムの開発	畜産廃棄物を対象として、新考案の光合成菌とメタン菌との複合醗酵処理で発生するバイオガスを利用した電力・熱コージェネシステムを開発する。特に本開発では各廃棄物の発生源の近傍で簡易に行える小型分散型システムを目指す。
11	クリスタルクレイ株式会社 平成 12～13 年度	CO ₂ 排出抑制型廃ガラス高度利用システムの実用化研究	リサイクルされていない着色ガラスびん廃ガラスを原料とした軽量タイルの実用化を図るための実証実験を行う。これにより、タイル製造時の焼成温度をひき下げ、炭酸ガス排出量を削減することができる。
12	倉敷紡績株式会社 平成 12～13 年度	排ガス中の亜酸化窒素の除去法および除去装置	ボイラーや焼却炉の排ガス中の亜酸化窒素を排水中に溶解し、排水中の有機物を栄養源として生物的に脱窒する技術を確立する。
13	日本ゼオン株式会社 平成 12～13 年度	地球環境調和型フッ素系溶剤の革新的製造技術の実用化研究	高い安全性と低い温暖化係数を特長とした新規フッ素系溶剤を安価に供給することにより、温室効果ガスの削減を実現する。